

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Tsuda-Machi-smileKIDS		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名 (30家庭)	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職の充実	当事業所では、専門性の高い支援を提供するため、各分野の専門職を配置し、多角的な視点から子ども一人ひとりに合わせた支援を行っている。	専門職の連携をさらに強化し、職員間での情報共有やケース検討の機会を充実させることで、より質の高い提供を目指す。
2	定期的な参観日の実施	定期的に参観日を実施することで、保護者の方に日々の様子や支援内容を直接見ていただく機会を設け、安心してご利用いただける環境づくりに努めている。	参観日を充実させるとともに、保護者の方との情報共有や相談の機会を増やし、ご家族と一緒にお子様の成長を支えていけるよう取り組んでいく。
3	外部講師による運動教室	外部講師による運動教室を行うことで、当事業所職員ではなく、違う専門職員に褒められることで、より自己肯定感を高めることができている。また、その都度運動内容が違うので利用児も楽しみながら参加できている。	職員も身体面の知識向上を行うために、MTや勉強を実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングの専門職がない	専門的に学ぶ機会や体制が十分でないため。	外部研修等を活用し、職員がペアレントトレーニングの基礎を学びながら、日々の保護者支援に取り入れていく。
2	地域の保育所・こども園との交流機会が少ない	関係づくりの機会が少なく、連携のきっかけが不足しているため。	近隣の保育所や認定こども園と情報交換や見学等を通して関係づくりを行い、段階的に交流の機会を広げていく。
3			